



ユーザーズマニュアル	. 1
Section 1: 製品概要	. 3
概要	. 3
PICTAR各部の説明	. 3
シャッターボタン	. 5
ズームリング/セルフィボタン	. 6
露出補正ホイール	
スマートホイール	. 8
バーチャルホイール	0
カメラグリップ	11
リスト/ネックストラップ	12
キャリングポーチ	14
1/4インチ三脚穴	15
コールドシューマウント	6
バッテリーインジケータ	17
PICTARアプリ	8
Section 2: 使用方法	9
PICTARアプリのダウンロード方法	9
電池の使い方	20
PICTARの装着方法	21
PICTAR専用アプリの起動方法	22
ストラップの使い方	23
PICTARの脱着方法	24
Section 3: PICTARの使い方	25
オートモード	35
スポーツモード	27
マクロモード	28
シャッター優先モード	29
ISO優先モード	30
マニュアルモード	31
セルフィモード	32
ムービーモード	33
フィルターモード	34
Section 4: 各種設定	36
設定について	36
Section 5: よくある質問	39

### PICTAR ONEをお買い上げありがとうございます。

本ユーザーズマニュアルには「PICTAR ONE MarkII」を最大限に使用するための使い方を説明しています。 基本的なことから説明をいたします。

### 1. PICTAR ONEの対応機種



PICTAR ONEは、iPhone(4s以降)で使用できます。

### 2. ビデオチュートリアル

PICTAR ONEの多くの機能を理解するために役立つビデオチュートリアルを用意しました。 こちらより動画が見られます。 https://vimeo.com/album/4632886

### 3. PICTARの外観







#### シャッターボタン



シャッターボタンを押し続けると「写真を撮る」または「ビデオ録画が開始」します。 DSLR(デジタルー眼レフカメラ)のように、最大の感度で撮影できるように電子的に補正されています。 シャッターボタンを半押しすると、フォーカスと露出がロックされますので、被写体の構図を調整できます。 お好みのフレーミングで、シャッターボタンを押すと撮影ができます。

#### ヒント:

PICTARのシャッターボタンは、手袋を着用した状態でも写真を撮れます。スポーツの際や寒い天候での撮影に最適です。

#### ズームリング/セルフィボタン



ズームリングはシャッターボタンの下にあり、iPhoneの画面でのピンチやズームの必要はありません。 片手でズームリングを回してズームインまたはズームアウトできます。 ズームリングは、PICTARアプリよりカスタマイズができます。また、iPhoneの画面でのピンチ&ズームも使用できます。 ズームリングをクリックすると、iPhoneの前面カメラと背面カメラが切り替わり「セルフ撮影」ができます。こちらの機能もズームリングの設定を カスタマイズして他の設定にできます。

#### ヒント:

セルフ撮影モードを片手で撮影したいときは、ズームボタンをクリックして前面カメラに切り替えます。ズームリングを回してお好みの構図で撮影 できます。

#### 露出補正ホイール



露出補正ホイールは、写真は暗すぎたり明るすぎたりした時にホイールを回すことで撮影前に明るさを調節できます。 DSLR(デジタルー眼レフカメラ)のように、ホイールはiPhoneの画面の下部に表示します。 調整方法としては1/3アパーチャステップで露出を変更できます。

#### ヒント:

マニュアルモードでは、露出補正ホイールでISO値を制御できます。



スマートホイール





スマートホイールは、プリセットモードを変更できます。また、PICTARアプリよりカスタマイズができます。 初期設定では、スマートホイールは下記の操作となります。

- A .....初心者に最適な自動モード
- フィルタモード ............ 写真に様々なフィルタ効果が使えるモード
- セルフモード ......自撮りなどの撮影に適したモード
- ビデオモード.....動画撮影モード
- マクロモード ...... 接写などの撮影に適したモード
- スポーツモード ........動きの早い被写体の撮影に適したモード

**ISO** .....(上級ユーザー向け)ISO優先モード

バーチャルホイール



PICTARアプリの画面右側に、バーチャルホイールがあります。

- フラッシュモード、シャッター速度、ISO等の様々なコントロールを変更できます。
- iPhoneの画面をフリックすることで設定を変更できます。
- 撮影モードの切替はスマートホイールで行えます。
- バーチャルホイールのアイコンは、右へスワイプで隠せます。
- iPhone画面の右端から指で左にスワイプすると再び表示できます。
- 小さな青い矢印は現在の設定している状態となります。

### リスト/ネックストラップ

PICTARは、リストストラップやネックストラップを使用することで、故意の落下などを防げます。

リストストラップは、PICTARが手から落ちないようにつかえます。ネックストラップは、PICTARを首から下げての持ち運びに最適です。 2つのストラップは、持ち運びやすさと素早く撮影ができるように使えます。



#### カメラグリップ



ー眼レフカメラの雰囲気の強いハンドグリップは、iPhoneをDSLR(デジタルー眼レフカメラ)カメラと同じくらい自然で安全に使えるように設計 されています。人間工学に基づいたPICTAR本体の形状と滑り止めグリップにより、片手でもiPhoneをしっかりと構えられます。



#### キャリングポーチ



キャリングケースは、PICTARを安全に持ち運ぶ際に便利です。

1/4インチ三脚穴



一般的な一眼レフカメラのようにPICTARの底面に標準的な1/4インチネジ式三脚ソケットがあります。

カメラ用の三脚や雲台等に取り付けることが可能です。

長時間露出では、手ぶれなどでぼやけたショットにつなりやすいので、安定した三脚やスタンド等を利用することで美しい写真を撮影できます。

コールドシューマウント



PICTARの上部には、標準サイズのコールドシューマウントがあります。

LEDライトやマイクなどのフルサイズのカメラアクセサリを多数取り付つけられます。

コールドシューマウントは、300gまでのカメラアクセサリを装着できますが、ホットシューマウントではないので、フラッシュユニット等の使用はできません。

PICTARをiPhoneに装着した場合、ライトニングコネクタ等が使用できなくなります。

iPhoneをPICTAR本体に接続する前に、iPhoneに接続している機器は取り外す必要があります。

PICTARは、iPhoneのレンズ部分を覆うことがありませんので、一般的な「クリップオンレンズ」等が使用でき、カメラの機能をさらに拡張することも簡単にできます。

バッテリーインジケータ



PICTARの青色のバッテリインジケータは、PICTAR本体のダイヤルが動作したときに点灯します。 バッテリが正常に動作している場合は、バッテリインジケータが点滅します。 約45秒間動作をしなかった場合は、バッテリインジケータが消灯します。 バッテリの寿命が切れ掛かっている場合は、バッテリインジケータが高速で点滅します。

#### PICTARアプリ



#### PICTARは、専用アプリよりiPhoneと通信を行います。

iPhoneの標準カメラアプリでは操作のできない主要なカメラ機能が使えるようになります。 PICTAR本体は、人間の耳に聞こえない高周波のデュアルトーンサウンドを使用してiPhoneと通信をします。 そのためBluetooth接続と比較しても、PICTARはバッテリ消費が少なくて済みます。

PICTARアプリ ダウンロード

https://itunes.apple.com/jp/app/pictar-by-miggo/id1233712669?mt=8

# PICTARアプリのダウンロード方法



### **1. CLICK ON APP STORE ICON**

### **2. SEARCH FOR PICTAR APP**





iPhoneのApp Storeアイコンを起動して検索から「PICTAR」と検索してください。(※PICTARアプリは無料です) PICTARアプリをダウンロードして、画面の指示に従ってカメラのマイクと写真にアクセスすることに同意します。 PICTARは、iPhone 4s以降(iOS 8以降)に対応しているため、iPhoneの機種が異なる人や友人や家族間で共有できます。 PICTARを共有して使うには、それぞれのiPhoneにPICTARアプリをダウンロードするだけです。 なお、PICTARには2つの異なるモデルがあります。

Pictar対応機種	iPhone 4s / 5 / 5c / 5s / SE / 6 / 6s / 7 / 8
Pictar Plus対応機種	iPhone 6 Plus / 6s Plus / 7 Plus/ 8 Plus / X

### 電池の使い方









PICTARにはあらかじめ「CR1 / 2AA リチウム乾電池」が装着されています。(※輸送中に給電されないようにプルタグが付いています) 乾電池を作動させるには、電池カバーを取り外します。

次に、乾電池の底部にあるプルタブを引き出してください。

これにより、PICTARで乾電池が使えるようになります。

最後に電池カバーを元に戻してください。

乾電池は、通常の使用で約4~6ヶ月使用できます。

新しい乾電池と交換するには、電池カバーを開けて古い乾電池を取り出し、新しい乾電池入れてください。(※1 / 2AAで3.6Vの乾電池をご使用ください)

その後、カバーを元に戻してください。(使用済みの乾電池は、お住いの地域の規則に従って廃棄をお願いいたします)

### PICTARの装着方法



#### 8

PICTARへiPhoneを装着する場合は、iPhoneの背面がPICTAR本体に向けて装着を行います。

iPhoneの左側面(音量ボタン側)をPICTARのiPhone設置スペースの下部へはめ込みます。

iPhoneがPICTARのiPhone設置スペース上部の所定の位置に、しっかりと収まるまでPICTAR本体のスプリング式の底部を引き下げて装着します。

iPhoneの底部(充電コネクタ側)は、PICTARのiPhone設置スペースの右端に収まるように装着してください。

#### ヒント:

極薄型のiPhoneケースやバンパー等であれば、iPhoneに取り付けたままでPICTARに装着ができます。

## PICTAR専用アプリの起動方法



iPhoneのPICTARアプリアイコンから起動をします。

各種ホイールやシャッターボタンが動作してPICTAR本体がiPhoneと通信している場合は、PICTAR本体上部の青色バッテリーインジケー ターが点灯します。

# ストラップの使い方



付属のストラップのクイックコネクタとストラップ本体を分離します。

ストラップの糸部分をPICTAR本体正面のストラップホールに通します。

クイックコネクタをストラップの糸部分の中に押し込み、PICTAR本体にしっかりと締め付けてからストラップ本体を取り付けます。

# PICTARの脱着方法

PICTAR本体をiPhoneに脱着するときは、iPhoneやPICTAR本体が損傷する恐れがあります。 iPhoneの上部から慎重に押してPICTAR本体からiPhoneを外してください。 iPhoneをPICTAR底部から取り外します。特に力を入れる必要はありません。





### オートモード

「A」または「オートモード」は、カメラの設定のほとんどを自動的に調整してくれるモードです。煩わしい設定などを気にせずに写真を撮影したい 方におすすめです。

### 1.1 基本操作

PICTARアプリを起動します。スマートホイールを回してAモードを選択します。選択後数秒でAのシンボルマークはiPhoneの画面の中央から消えます。現在使用しているモードは、PICTARアプリ画面の左上にも表示をします。

被写体のアングル等を確認して、シャッターボタンを全押しすると、PICTARアプリから写真が撮影されます。撮影した写真は、カメラロールに保存されます。

### 1.2 ズーム機能

ズーム機能を使うことで様々な撮影ができます。ズームリングを回すと、ズームインやズームアウトできますのでお好みの構図を楽しめます。ズーム機能は、標準設定の×1.0から10倍に拡大された×10.0まで、ズームの状態を示すアイコンが画面中央に表示します。

### 1.3 シャッターの半押し

シャッターボタンを半押しすると、画面中央にアイコンが表示されて露出アイコンが表示します。カメラはこの位置を基準とする画像の部分に フォーカスを当てて露出補正を行います。露出補正が行われたらシャッターボタンを全押しして撮影してください。露出アイコンが設定されてい ない場合は、カメラは撮影範囲全体から平均的な光の読み取りを行います。

### 1.4 ピントと露出ポイントの変更

カメラが撮影範囲の別の部分にフォーカスを当てるようにしたい場合は、iPhoneの画面の露出アイコンを指で画角の関連部分にドラッグしま す。その後、シャッターボタンを押して撮影してください。再度フォーカスをあわせるには、露出アイコンを撮影範囲の別の部分にドラッグします。 フォーカスをやり直すには、シャッターボタンを放してもう一度半押しします。

シャッターボタンを半押しするかどうかにかかわらず、iPhoneの画面の触れることで、フォーカスと露出アイコンをアクティブにできます。

### 1.5 露出の変更

露出アイコンは、カメラの焦点と露出ポイントを移動するだけでなく、適切な露出を設定するときの写真の明るさ(画角の明るさや暗さ)を表示します。写真が明るすぎたり暗すぎたりするときは、露出補正ホイールを回してお好みの状態に調整できます。露出補正ホイールを回すと、画面の 下部にあるグリッドに写真を明るくするか暗くするかを表示します。お好みの状態に調整してシャッターボタンを全押しして撮影してください。

### 1.6 オートモードの詳細な調整方法

iPhone画面上のフォーカスと露出のアイコンをダブルタップすると、2つのアイコンに分かれて表示します。円のアイコンは、カメラがピントを合わせている場所で、太陽のアイコンは露出を設定している撮影範囲の一部です。

フォーカスポイントをドラッグすると、ドラッグした位置にフォーカスが移動します。撮影範囲のお好みの位置に露出ポイントをドラッグすること でカメラは露出ポイントの位置に従って明るさを調整します。シャッターを押し込むまで、両方のポイントを自由にドラッグできます。フォーカスポ イントと露出ポイントの両方の点を1つのアイコンに戻すには、フォーカスアイコンと露出アイコン重ね合わせます。露出補正ダイヤルホイールを 回して写真の明るさの微調整もできます。

### 1.7 バーチャルホイールの使い方

iPhone画面の右側には、フラッシュなどの様々な機能を変更できる様々バーチャルホイールがあります。上下にフリックすることで、フラッシュ機能を、全自動/連続フラッシュ/フラッシュオフ/フラッシュフルなどへ変更できます。メニューをスクロールして目的のフラッシュ機能をお選び ください。バーチャルホイールのアイコンは、右へスワイプをして隠せます。iPhone画面の右端に小さな青矢印が表示している時は、左にスワイプ すると、バーチャルホイールが表示します。

### 1.8 写真を見る

iPhone画面の右下に、積み重なった写真アイコンがあります。写真アイコンをクリックすると、撮影した写真やカメラロール内の他の写真が見ら れます。撮影した写真は、写真情報を見たり、削除や共有ができます。

### 1.9 オートモードでの自撮り撮影

ズームリングをクリックすると、iPhoneの前面と背面のカメラが切り替わり、自撮りに最適です。顔検出によるフォーカス調整以外のオートモードの機能が動作します。

# スポーツモード

スマートホイールを回して、スポーツモード(人がランニングをしているアイコン)に合わせて、スポーツモードに設定します。この設定は、被写体が、スポーツをしていたり、走り回るペットや動いている人のように、動きのある被写体を写真で撮影するモードです。

スポーツモードのアイコンが画面の左上に表示されます。iPhone画面上部に、ISO設定/シャッタースピード(S)/絞り(F値)の3つの値が表示 されます。F値は固定値となり変更はできません。

スポーツモードは、PICTARアプリが自動的に撮影範囲の明るさを測定し、高いシャッタースピードを設定して被写体を撮影します。撮影範囲の 光レベルを考慮してISOを自動的に調整します。

露出補正ホイールを使用すると、撮影範囲の明るさが変わります。iPhone画面の上部に表示されているシャッタースピードやISOも変更されま す。スポーツモードでは、iPhone画面をタップするとフォーカスポイントが表示します。撮影範囲のお好みの位置にフォーカスポイントを移動し てフォーカスを調整できます。

ズームリングをクリックすると、iPhoneの前面と背面のカメラが切り替わり、自撮りに最適です。顔検出によるフォーカス調整以外のスポーツ モードの機能が動作します。

### マクロモード

スマートホイールを回して、マクロモード(花のアイコン)に合わせて、マクロモードに設定します。この設定は、花のような小さな被写体のクロー ズアップ写真を撮影するのに適したモードです。

マクロモードのアイコンが画面の左上に表示されます。iPhone画面上部に、絞り(F値)の値が表示されます。F値は固定値となり変更はできません。

マクロモードは、PICTARアプリが自動的に撮影範囲の明るさを測定し、撮影範囲の光レベルを考慮してISOとシャッタースピードを自動的に調整します。

露出補正ホイールを使用すると、撮影範囲の明るさが変わります。マクロモードでは、撮影範囲の被写体距離の短い範囲を手動でフォーカスが できます。フォーカス距離の設定はiPhone画面の右側にあるスライダーを使用します。スライダーは上から下へ向かうほどフォーカス距離が近く なります。シャープにしたい撮影範囲のピントが合う位置へフォーカスポイントをスライドさせます。お好みの状態に調整をして撮影ができます。 マクロモードでは、iPhone画面をタップすると露出ポイントとフォーカスポイントの組み合わさったアイコンが表示します。ただし、マクロモード では自動フォーカスが無効となりますので、露出を撮影範囲の露出ポイントで設定します。ズームリングをクリックすると、iPhoneの前面と背面 のカメラが切り替わり、自撮りに最適です。フォーカスは、顔検出による設定で行われます。

### シャッター優先モード

スマートホイールを回して、シャッター優先モード(Sの文字アイコン)に合わせて、シャッター優先モードに設定します。この設定は、シャッター速度を変更できますので、動きの早い被写体や、動きの印象を残すために残像を残すような撮影に適したモードです。

シャッター優先モードのアイコンが画面の左上に表示されます。iPhone画面上部に、ISO設定/シャッタースピード(S)/絞り(F値)の3つの値 が表示されます。F値は固定値となり変更はできません。

シャッター優先モードは、PICTARアプリが自動的に撮影範囲の明るさを測定し、撮影範囲の光レベルを考慮してISOとシャッタースピードを自動的に調整します。シャッター優先モードは、iPhone画面の右端のバーチャルホイールを使用してシャッタースピードを設定します。1/8000秒など、非常に高速なシャッタースピードに設定をすると被写体が止まっているかのような写真を撮影できます。1/2秒の低いシャッタースピードから一般的な撮影まで様々な効果を表現する設定ができます。花火や夜間の光源残像などの撮影もできます。非常に遅いシャッター速度では、三脚やカメラを安定して保持できる環境が必要です。PICTAR本体底部には1/4インチ三脚マウントが付いています。

バーチャルホイールのアイコンは、右へスワイプをして隠せます。iPhone画面の右端に小さな青矢印が表示している時は、左にスワイプすると、 バーチャルホイールが表示します。

シャッター優先モードは、PICTARアプリが自動的に撮影範囲の明るさを測定し、撮影範囲の光レベル設定したシャッタースピードを考慮して ISOを自動的に調整します。

露出補正ホイールを使用すると、撮影範囲の明るさが変わります。iPhone画面の上部に表示されているISOは自動調整されます。シャッター優 先モードでは、iPhone画面をタップするとフォーカスポイントが表示します。撮影範囲のお好みの位置にフォーカスポイントを移動してフォーカ スを調整できます。

ズームリングをクリックすると、iPhoneの前面と背面のカメラが切り替わり、自撮りに最適です。顔検出によるフォーカス調整以外のシャッター 優先モードの機能が動作します。

# ISO優先モード

スマートホイールを回して、ISO優先モード(ISOの文字アイコン)に合わせて、ISO優先モードに設定します。この設定は、カメラの光がどの程度 敏感で画質のきめ細かさの調整に適したモードです。

ISO優先モードのアイコンが画面の左上に表示されます。iPhone画面上部に、ISO設定/シャッタースピード(S)/絞り(F値)の3つの値が表示 されます。F値は固定値となり変更はできません。

ISO優先モードは、iPhone画面の右端のバーチャルホイールを使用してISO値を設定します。ISO2000などの非常に高いISO値に設定すると、 カメラが光に敏感になり夜間や暗室での撮影に最適です。ただし、ISO値を高くすると画質が劣化いたしますのでご注意ください。ISO20までの 低ISO設定は、カメラの光に対する敏感さを軽減します。天気の良いビーチや雪山などの非常に明るいシーンや写真を拡大して印刷したりする 場合など、最高の画質を求める場合に最適です。低ISO設定は高品質の写真を撮影できますが、シャッタースピードが遅いことがあり、非常に遅 いシャッター速度では、三脚やカメラを安定して保持できる環境が必要です。

バーチャルホイールのアイコンは、右へスワイプをして隠せます。iPhone画面の右端に小さな青矢印が表示している時は、左にスワイプすると、 バーチャルホイールが表示します。

Pictarは自動的にシーンの明るさを測定し、設定したシーンとISOに当たる光レベルを考慮してシャッター速度を調整します。

露出補正ホイールを使用すると、撮影範囲の明るさが変わります。iPhone画面の上部に表示されているISOは自動調整されます。ISO優先モードでは、iPhone画面をタップするとフォーカスポイントが表示します。撮影範囲のお好みの位置にフォーカスポイントを移動してフォーカスを調整できます。

ズームリングをクリックすると、iPhoneの前面と背面のカメラが切り替わり、自撮りに最適です。顔検出によるフォーカス調整以外のISO優先 モードの機能が動作します。

### マニュアルモード

スマートホイールを回して、マニュアルモード(Mの文字アイコン)に合わせて、マニュアルモードに設定します。この設定は、カメラの感度の調整や シャッター速度やフォーカスなど様々な設定の調整に適した上級者向けのモードです。

マニュアルモードのアイコンが画面の左上に表示されます。iPhone画面上部に、ISO設定/シャッタースピード(S)/絞り(F値)の3つの値が表示されます。F値は固定値となり変更はできません。

マニュアルモードは、iPhone画面の右端のバーチャルホイールを使用してシャッタースピードを設定します。1/8000秒など、非常に高速な シャッタースピードに設定をすると被写体が止まっているかのような写真を撮影できます。1/2秒の低いシャッタースピードから一般的な撮影ま で様々な効果を表現する設定ができます。花火や夜間の光源残像などの撮影もできます。非常に遅いシャッター速度では、三脚やカメラを安定 して保持できる環境が必要です。PICTAR本体底部には1/4インチ三脚マウントが付いています。

バーチャルホイールのアイコンは、右へスワイプをして隠せます。iPhone画面の右端に小さな青矢印が表示している時は、左にスワイプすると、 バーチャルホイールが表示します。

マニュアルモードは、iPhone画面の右端のバーチャルホイールを使用してISO値を設定します。ISO2000などの非常に高いISO値に設定する と、カメラが光に敏感になり夜間や暗室での撮影に最適です。ただし、ISO値を高くすると画質が劣化いたしますのでご注意ください。ISO20ま での低ISO設定は、カメラの光に対する敏感さを軽減します。天気の良いビーチや雪山などの非常に明るいシーンや写真を拡大して印刷したり する場合など、最高の画質を求める場合に最適です。低ISO設定は高品質の写真を撮影できますが、シャッタースピードが遅いことがあり、非常 に遅いシャッター速度では、三脚やカメラを安定して保持できる環境が必要です。

PICTARは自動的に撮影範囲の明るさを測定せず、撮影範囲の光レベルからISOまたはシャッター速度も調整しません。ユーザーが設定した内容で写真を撮影します。

マニュアルモードでは、設定メニューよりフォーカス設定をマニュアルにすることでiPhone画面の右側のスライダーでフォーカス調整ができま す。初期設定はオートフォーカスとなります。スライダーは上から下へ向かうほどフォーカス距離が近くなります。シャープにしたい撮影範囲のピ ントが合う位置へフォーカスポイントをスライドさせます。お好みの状態に調整をして撮影ができます。マニュアルモードでは、iPhone画面をタッ プしても露出ポイントとフォーカスポイントの組み合わさったアイコンは表示しません。

ズームリングをクリックすると、iPhoneの前面と背面のカメラが切り替わり、自撮りに最適です。顔検出によるフォーカス調整以外のマニュアル モードの機能が動作します。

# セルフィモード

スマートホイールを回して、セルフィモード(セルフィのアイコン)に合わせて、セルフィモードに設定します。この設定は、前面カメラから自撮りを するときに適したモードです。

セルフィモードのアイコンが画面の左上に表示されます。iPhone画面上部に、絞り(F値)の値が表示されます。F値は固定値となり変更はできません。

セルフィモードは、カメラが顔検出機能より被写体の顔にピントを合わせます。バーチャルホイールはフラッシュアイコンを表示していますが、セルフィモードでは機能しません。バーチャルホイールのアイコンは、右へスワイプをして隠せます。iPhone画面の右端に小さな青矢印が表示している時は、左にスワイプすると、バーチャルホイールが表示します。

セルフィモードは、PICTARアプリが自動的に撮影範囲の明るさを測定し、撮影範囲の光レベルを考慮してISOとシャッタースピードを自動的に 調整します。

露出補正ホイールを使用すると、撮影範囲の明るさが変わります。セルフィモードでは、iPhone画面をタップするとフォーカスポイントが表示します。撮影範囲のお好みの位置にフォーカスポイントを移動してフォーカスを調整できます。

### ムービーモード

スマートホイールを回して、ムービーモード(ムービーカメラのアイコン)に合わせて、ムービーモードに設定します。

ムービーモードのアイコンが画面の左上に表示されます。iPhone画面上部に、録画した経過時間が表示されます。シャッターボタンを押して録 画を開始すると、タイマーの横に赤色のアイコンが表示され、録画中となります。シャッターボタンをもう一度押すと録画を終了します。

ムービーモードは、iPhone画面の右端のバーチャルホイールを使用してカメラの内蔵ライトを設定します。低光量撮影等に便利な機能です。上下にフリックすることで、フラッシュ機能を、全自動/ライトオン/ライトオフ/ライトフルなどへ変更できます。メニューをスクロールして目的のフラッシュ機能をお選びください。バーチャルホイールのアイコンは、右へスワイプをして隠せます。iPhone画面の右端に小さな青矢印が表示している時は、左にスワイプすると、バーチャルホイールが表示します。

ムービーモードは、PICTARアプリが自動的に撮影範囲の明るさを測定し、撮影範囲の光レベルを考慮してムービーすべての設定を調整します。 露出補正ホイールを使用すると、撮影範囲の明るさが変わります。ムービーモードでは、iPhone画面をタップすると露出とフォーカスポイントが 表示します。撮影範囲のお好みの位置にフォーカスポイントを移動してフォーカスを調整できます。

iPhone画面上のフォーカスと露出のアイコンをダブルタップすると、2つのアイコンに分かれて表示します。円のアイコンは、カメラがピントを合 わせている場所で、太陽のアイコンは露出を設定している撮影範囲の一部です。

フォーカスポイントをドラッグすると、ドラッグした位置にフォーカスが移動します。撮影範囲のお好みの位置に露出ポイントをドラッグすること でカメラは露出ポイントの位置に従って明るさを調整します。シャッターを押し込むまで、両方のポイントを自由にドラッグできます。フォーカスポ イントと露出ポイントの両方の点を1つのアイコンに戻すには、フォーカスアイコンと露出アイコン重ね合わせます。露出補正ダイヤルホイールを 回して写真の明るさの微調整もできます。

ズームリングをクリックすると、iPhoneの前面と背面のカメラが切り替わり、自撮りに最適です。顔検出によるフォーカス調整以外のムービー モードの機能が動作します。

# フィルターモード

スマートホイールを回して、フィルターモード(しずくの形のアイコン)に合わせて、フィルターモードに設定します。この設定は、様々なビルトイン のクリエイティブやテクニカルフィルタを使用して、静止画モードでの写真の表示方法を変更するのに適したモードです。撮影後にフィルタを適 用するのではなく、写真がどのように撮影されるかをリアルタイムで確認できるので撮影結果がわかりやすいです。

フィルターモードのアイコンが画面の左上に表示されます。フィルターのリストがiPhone画面の左側に表示され、スクロールして選択できます。 iPhone画面上でアイコンをスワイプするか、露出補正ホイールを回すことでも実行できます。選択されているフィルタの周囲に青い輪郭が表示 されます。iPhone画面にフィルタの効果が適用された状態でリアルタイムにフィルターが表示されます。ほとんどのフィルターは、iPhone画面の 左側のスライダかiPhone画面の右側のバーチャルホイールのスライダから調整ができます。設定を変更することによる効果はリアルタイムで見 られます。バーチャルホイールのアイコンは、右へスワイプをして隠せます。iPhone画面の右端に小さな青矢印が表示している時は、左にスワイ プすると、バーチャルホイールが表示します。

PICTARは自動的に撮影範囲の明るさを測定せず、撮影範囲の光レベルからISOまたはシャッター速度も調整しません。ユーザーが設定した フィルター設定で写真を撮影します。フィルターモードでは、iPhone画面をタップすると露出とフォーカスポイントが表示します。撮影範囲のお 好みの位置にフォーカスポイントを移動してフォーカスを調整できます。

iPhone画面上のフォーカスと露出のアイコンをダブルタップすると、2つのアイコンに分かれて表示します。円のアイコンは、カメラがピントを合わせている場所で、太陽のアイコンは露出を設定している撮影範囲の一部です。

フォーカスポイントをドラッグすると、ドラッグした位置にフォーカスが移動します。撮影範囲のお好みの位置に露出ポイントをドラッグすること でカメラは露出ポイントの位置に従って明るさを調整します。シャッターを押し込むまで、両方のポイントを自由にドラッグできます。フォーカスポ イントと露出ポイントの両方の点を1つのアイコンに戻すには、フォーカスアイコンと露出アイコン重ね合わせます。

ズームリングをクリックすると、iPhoneの前面と背面のカメラが切り替わり、自撮りに最適です。顔検出によるフォーカス調整以外のフィルター モードの機能が動作します。

フィルターは、App Storeで個別または割引価格でまとめ買い購入できます。

#### ご注意:

フィルタは、App Storeで「個別」または「まとめて購入」ができます。
 フィルタは、初期設定の2個は、無料で使用できます。
 より多くのフィルターを購入する場合は、目的のフィルターをタップし、指示に従ってください。
 フィルタの購入方法は、次の動画をご覧ください。
 https://vimeo.com/album/4632886/video/221083554

2. iPhone 4Sでは、制限によりフィルタモードが無効になっています。

#### 3. 購入したフィルターの復元

購入したフィルタを復元する必要がある場合は、歯車アイコンをタップしてください。



さらに歯車アイコンをタップして、設定画面を表示してください。 「購入情報の復元」をタップしてください



最後に、Apple IDとパスワードを入力すると、フィルタが復元されます。



### 設定について

iPhone画面の右上にある歯車をタップすると設定メニューが開き、様々な設定を変更できます。



0

iPhone画面の右上には5つのメインアイコンがあります。チュートリアル等のヘルプ/通信メニューやボタンメニューのカスタマイズ設定/サウ ンドやジオタグや購入の復元とリセットの設定/カメラ設定があります。

一番右のアイコンで設定メニューからカメラ画面に戻ります。



カメラアイコンをタップすると、撮影プリセット等の設定変更や撮影に関する詳細な設定が行えます。

●モード	モードアイコンをタップすると、左側にスクロールホイールが表示されます。
	PICTARの撮影設定を9つのモードから選択できます。
●ホワイトバランス	WBアイコンをタップすると、左側にスクロールホイールが表示されます。
	特定のホワイトバランスを設定したり、WBA設定で自動ホワイトバランスにも設定できます。その他、撮影範囲内の光源
	と一致するように、日陰/晴れ/白熱/曇り/蛍光等の設定ができます。(※ホワイトバランスモードは、一部の撮影モー
	ドでは使用できません。)
●フラッシュ	WBアイコンをタップすると、左側にスクロールホイールが表示されます。
	フラッシュモードには、フラッシュのオン/オフ/自動フラッシュ/フルパワーフラッシュがあります。
●アスペクト比	アスペクト比アイコンをタップすると、左側にスクロールホイールが表示されます。
	撮影範囲のアスペクト比を選択できます。標準の3×4/ワイドスクリーンの16×9/正方形の1×1が設定できます。
●タイマー	タイマーアイコンをタップすると、左側にスクロールホイールが表示されます。
	シャッターボタンを押してからカメラを撮るまでの時間を選択できます。初期設定はオフとなります。シャッターを全押しし
	た瞬間にカメラが写真を撮影します。3秒/5秒/10秒/15秒の時間を選択できます。
●グリッド	グリッドアイコンをタップすると、左側にスクロールホイールが表示されます。
	撮影範囲にグリッドを表示できます。グリッドは撮影範囲を9つのセクションに分割して水平と垂直の直線を表示させま
	す。画角やレイアウトを想定しやすくなります。(※グリッドモードは、一部の撮影モードでは使用できません。)
●水平線	水平線アイコンをタップすると、左側にスクロールホイールが表示されます。
	撮影範囲の水平線を表示できます。水平線は、撮影範囲を水平に保つように、PICTARの水平角度を数値でも表示しま
	す。風景写真や建物の撮影に最適です。(※水平線モードは、一部の撮影モードでは使用できません。)
●ヒストグラム	ヒストグラムアイコンをタップすると、左側にスクロールホイールが表示されます。
	撮影範囲のヒストグラムを表示できます。ヒストグラムは、撮影範囲内のトーンを黒から白へとリアルタイムでグラフィカル
	に表現するため、経験豊かな写真家が露出を判断するのに適しています。理想的な撮影をしたい場合は、ヒストグラムの
	両端に極端な重心を置かないことが良い写真のコツとなります。

- フィルターアイコンをタップすると、左側にスクロールホイールが表示されます。
   フィルター機能のオン/オフの切り替えができます。フィルターモードは選択したフィルターが撮影範囲にリアルタイムに
   表示されます。
- ●フォーマット 撮影データ形式を、JPEGとTIFFの選択ができます。 TIFFファイルは、大容量の写真となりますが、写真の加工に適した最高レベルの画質を維持できます。
- ●フォーカス フォーカスを手動/自動の切り替えができます。
- ●ライブビュー ライブビューをオン/オフの切り替えができます。



### 設定アイコン



- 歯車アイコンをタップすると、各種設定が変更できる別のサブメニューが表示します。
- 1. サウンドアイコン ...... 左側のスライダを上下に動かして音量を調できます。
- 2. ジオタグ ...... ジオタグ機能をオンまたはオフできます。
- 3. リセット ..... PICTARを工場出荷時の設定に戻します。
- 4. 購入の復元 ……………………… プレミアムフィルタ等の購入したPICTARの追加機能を復元できます。 (※Apple IDでApple Storeにサインインする必要があります。)



### PICTARアイコン



PICTAR本体を表すアイコンをタップすると、各種ホイールコントロールのカスタマイズのできるメニューとなります。 カスタマイズしたいホイールをクリックすると、ホイールが様々なモードでコントロールできる機能のメニューが表示します。 ホイールの操作をカスタマイズしたい場合は、iPhone画面上のアイコンをスワイプします。 カスタマイズしたメニューの状態が表示されているように各種ホイールが動作します。

		?	ŝ	Ô	×			
What do you want to edit?								
	Front Buttons	Custom Mode						

4.

インフォメーションアイコン



上記のアイコンをタップすると、PICTARの情報が表示します。



・ワークショップ: スマートフォンでの撮影、夜間写真撮影など、魅力的な話題の動画を掲載しています。

・チュートリアル: PICTARの優れた機能の詳細説明が参照できます。

・ユーザーガイド: PICTARのオンラインユーザーガイドとFAQが参照できます。

#### 5.

#### 外部レンズアイコン



スマートフォン搭載のカメラレンズに外部レンズを追加するときに使用します。

PICTARが使用しているレンズ(広角/望遠)が認識できるようにするには、メニューから使用している外部レンズを選択します。 例:広角の外部レンズをスマートフォンに接続する場合は、「ワイドアングルカメラのレンズ」を選択します。



iPhone X、iPhone 8 Plusなどのデュアルレンズ搭載のスマートフォンで機能します。

### よくある質問 対応機種について

### 1. iPhoneへの対応機種は?

PICTAR ONE対応機種iPhone 4s・5・5c・5s・SE・6・6s・7・8PICTAR ONE PLUS対応機種iPhone X および iPhone 6 Plus・6s Plus・7 Plus・8 Plus

### 3. PICTARがサポートするApple iOSのバージョンは?

iOS 8.0以降になります。

### 使い方について

### 1. PICTARアプリの入手方法は?

iPhone用は、「App Store」からダウンロードができます。

https://itunes.apple.com/app/pictar/id1149825001?mt=8&ign-mpt=uo%3D4

### 2. iPhoneをPICTARに接続する方法は?

とても簡単です。動画でよりわかりやすく説明しています。 https://vimeo.com/218343172

### 3. 保護ケース等をつけたまま使えますか?

使えます。

シリコンケース等を付けたままPICTARを使用できます。ただし、革製のケースや厚みのあるケース場合は、PICTARでは使用できない場合があります。その際は、ケースを取り外してご使用ください。

### バッテリーについて

### 1. PICTARで使用するバッテリーの種類は? 寿命はどのくらいでしょうか? どこで購入できますか?

・バッテリータイプ:1 / 2AA 3V~3.6V

・バッテリーは、約4~6カ月間(通常使用時)の使用ができます。

・バッテリーは、アマゾン等のオンラインストアやカメラ量販店などで購入できます。

### 2. バッテリーインジケーター(青色LEDライト)は どのように点灯しますか?

いずれかのダイヤルが動作すると、バッテリーインジケーターが点灯します。 電池が使用可能な状態は、バッテリーインジケーターがゆっくりと点滅します。 バッテリの寿命が近づいていると、バッテリーインジケーターが急速に点滅します。 45秒間使用しないと、バッテリーインジケーターが点滅を停止します。

### 音声と着信について

# iPhoneで動画を撮影するとき、 PICTARは音声に影響がありますか? マイクを遮断したりしますか?

PICTARでビデオを撮影する場合の音声には特に影響はありません。通常の動画撮影と変わりのない撮影が行えます。

### 2. PICTARを使用している間に、電話の着信に応答できますか?

問題なくご使用いただけます

### その他

### PICTARの電源のオン/オフはどうしたらいいですか?

PICTAR本体には、電源のオン/オフ機能は搭載しておりません。

### コールドシューマウントはどれくらいの重量の機器が使えますか?

重量が約300gまでのコールドシューマウント対応機器に対応しています。

### PICTARについて、さらに詳しい情報はありますか?

1. PICTARのビデオチュートリアルをみてください。

2. Workshopにある情報をみてください。

### iPhoneが熱くなりますが、なぜですか?

PICTARアプリは、高性能な機能ですのでiPhoneのプロセッサから多くのリソースを利用するために熱を発します。

### プレミアムフィルタの追加料金表示を非表示にできますか?

フィルタ機能の一部はアプリ内課金の機能となります。

製品の継続的なサポートを保証するために、有料機能をアプリ内の一部に用意しています。